



平成26年度 **しまね**
建築・住宅
コンクール

魅力あるしまねの暮らしを目指して





ごあいさつ

島根県知事 溝口善兵衛

近年、島根では、少子高齢化への対策、地域コミュニティの維持、地震など自然災害への対応、環境に優しいまちづくりなど様々な課題があります。こうした中、住宅や建物にも、バリアフリー・耐震・省エネ性能の向上や空き家の活用などが求められています。

県では、平成19年度から「しまね建築・住宅コンクール」を実施して、県民や事業者の皆様から、地域課題に配慮した住宅や建物の整備・活動事例を募集し、優れたものを優良な事例として広く紹介しています。

今年度は、建築部門111件、活動部門7件の合計118件もの応募をいただきました。ご応募いただいた皆様に、厚くお礼を申し上げます。

審査委員会において、現地審査を含めて慎重な審議を重ねた結果、建築物11件、活動2件の合計13件を表彰することとなりました。

受賞されました皆様には、心からお祝いを申し上げます。また、審査を行っていただきました審査委員の皆様にも厚くお礼を申し上げます。

今回の表彰が、県民の皆様の豊かな住まいや建物づくり、魅力ある地域づくりの参考となれば幸いです。

県では、今後とも、安全・安心で豊かな住生活の実現に向けた取組を進めてまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

平成27年3月

選考総評

審査委員長 熊谷 昌彦

平成26年度のテーマは「魅力あるしまねの暮らしを目指して—快適で豊か、安心で安全な生活の実現のために—」とし、建築物部門と活動部門の2部門に分けてテーマに即した建築行為、住生活に関連する活動を募集しました。

今年度の応募件数は118件で、建築物部門111件、活動部門は7件と大変多くの応募がありました。

第1次審査で建築物部門を応募書類・写真をもとに28件、活動部門7件を選出し、第2次審査にて現場視察等を行い、表彰候補13件を選定しました。

今回は最優秀賞 該当者なし、優秀賞3件、奨励賞10件を選定しました。

「魅力あるしまねの暮らし」というテーマを掲げ4年目となり、あらためて再考したとき、伝統を受け継ぐという課題があげられます。保存や保全では不十分で、革新や改革といった言葉が浮かび上がってきます。そこでは、まず、人間の知覚の原初性や生活経験の意味が問われます。住宅や建築は、家電製品のように性能を重視し、品質を保証する器具でなく、人間の五感を高める活動や空間を提示することと思われました。他方、人間は社会性をもった動物でもあります。次世代の生活をみつめながら、地域社会との関連のなかで建築や住宅が存在することも期待しました。

最優秀賞は該当なしということになりましたが、全体的には、個人の生活やライフスタイルを大切にしたい個性あふれる提案が多くみられ、興味深く思いました。できれば、「しまねの暮らし」のあり方を問い直し、しまねの気候風土にそった技術的性能の開発にまで踏み込んだ提案がほしいと思いました。

優秀賞3件は建築物部門から「かずと会館」「土間と大黒柱の有る家」「のび・のび・のび」を選定しました。いずれも、地域のニーズや地域性を大切にしたいデザインそして県民の新しい暮らしに示唆を与えるものでした。

奨励賞は、建築物部門から「中庭のあるローコスト住宅」「求院の家」「ギャラリー記田屋」「ふるさと定住の古民家再生」「奥谷の家」「大田の家」「古民家DIY」「外中原町の2世帯住宅」8件、活動部門から「まちなか再生拠点 オープンスペース ichi」「旧堀氏庭園活用協議会」の2件を選定しました。県民のライフスタイルに沿った魅力ある住まいや活動に寄与する提案、地域の再発見や再生の活動が評価されました。

今回表彰された建築物や活動が、様々な場所で今後のモデルとなり、県内の良質な住環境整備の推進につながっていくことを審査員一同期待しております。

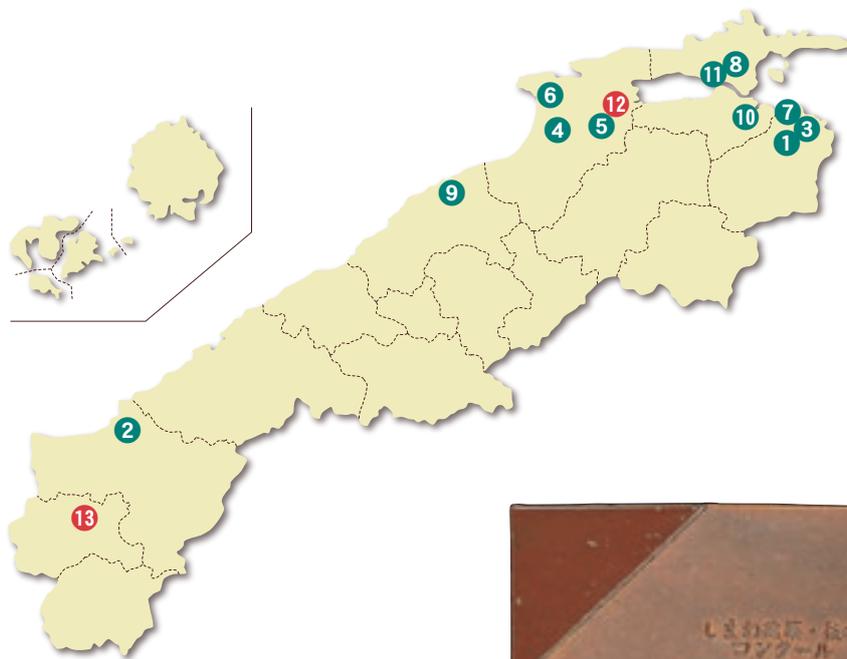
平成27年3月

しまね建築・住宅コンクール

テ ー マ

『魅力あるしまねの暮らしを目指して
—快適で豊か、安心で安全な生活の実現のために—』

受 賞 物 件



【建築物部門】

- ① かずと会館
安来市広瀬町
- ② 土間と大黒柱の有る家
益田市幸町
- ③ のび・のび・のび
安来市西赤江町
- ④ 中庭のあるローコスト住宅
出雲市大島町
- ⑤ 求院の家
出雲市斐川町
- ⑥ ギャラリー記田屋
出雲市大社町
- ⑦ ふるさと定住の古民家再生
安来市荒島町
- ⑧ 奥谷の家
松江市奥谷町
- ⑨ 大田の家
大田市長久町



表彰銘板（石州敷瓦）

- ⑩ 古民家DIY
松江市八雲町
- ⑪ 外中原町の2世帯住宅
松江市外中原町

【活動部門】

- ⑫ まちなか再生拠点 オープンスペース ichi
出雲市今市町
- ⑬ 旧堀氏庭園活用協議会
鹿足郡津和野町



かずと会館

愛着と記憶に残る場所づくり



安来市広瀬小学校敷地内にある多目的教室である。広瀬小学校の卒業生である吉田和人氏の寄付により建設された。吉田氏からの「藩校であった閑谷学校のように、自由に子供たちが集い、楽しく遊べる場所を提供したい。愛着をもって後世まで大切にされる、古びても美しい建物を作って欲しい」との依頼にこたえ、シンプルな切妻の大屋根で平屋建ての設計としている。多目的ルーム・読書室コーナー・サロンで構成され、読書コーナーにつながる縁側では半戶外空間で、気楽に読書したり、将棋をさしたり、走り回ったり、子供達が自由に使える場所として利用されている。

また、敷地内には広瀬小学校創設以前から大切にされてきた、松平広瀬藩家老鈴木氏の庭園があり、サロンからゆったりと庭園が眺められる。工事には広瀬小学校卒業生が多く関わり、また現在の小学生の見学等も行われ、地域の総意としての多目的教室であることがうかがわれた。

多目的教室では、学校に思いをもつ人々の協力を得ながら整備していく手法を用いたうえで、小学校時代の愛着と記憶に残る場所としてデザインを行う姿勢が貫かれている。しかも、パッシブソーラー等の技術的方法を提示し、日本の伝統的住宅に見受けられる半戶外空間を多目的教室空間のなかにとりこむことで、子供達が自由に使える場所を創出している。(熊谷昌彦)



所在地：安来市広瀬町
 建築主：安来市長
 設計者：田中正夫建築設計事務所
 施工者：平井建設株式会社

建物概要

用途：小学校多目的室／構造：木造
 階数：1／延べ面積：301.05㎡
 工事種別：新築

優秀賞

土間と大黒柱の有る家

地域らしい懐かしさを醸し出す家



所在地：益田市幸町
 建築主：個人
 設計者：有限会社万設計
 施工者：有限会社大広建設

建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：2
 延べ面積：138.83㎡／工事種別：新築

益田市内の幹線道路沿いに建つ住宅です。周囲の建物に馴染むよう前庭を配置し、ゆとりある空間を経て玄関へと導かれていきます。夏の陽射しをさけるため、軒を低く抑え、深くすることで雨掛りの少ない落ち着いた濡れ縁となり、木材で造りこまれたアプローチ正面の姿のしつらえに調和して、この地域らしい懐かしさを醸し出します。

道路側から望む切妻の石州瓦来待三色混ぜ葺きは、1階屋根の勾配を少し緩めて葺かれていて、存在感が際立ちます。

雰囲気のある玄関を経ると、この家のテーマとなっている使い勝手の良い土間へと導かれます。愛犬も安らぐこの土間は、リビング、ダイニングへと繋がる豊かな空間を演出します。

開放感あふれる内部は、中心部に大黒柱を立て、収納可能な障子而建て付けることで、「モダン」な中にも「和」の空間を楽しむことができます。オープンな空間でも、天井高さを変えることにより、そのエリアの役割を意識させる落ち着きを創りだすことができています。

設計者の細かな配慮や、既成品を極力排除するというこだわりによって、材料の美しさと仕上げの納まりの良さを追求した、美しさの際立つ建物に仕上がっています。利用者への配慮に優れていて、満足度が伝わる建物です。

(佐々木巧)

優秀賞

近所のおっちゃんおばちゃんが集う家のび・のび・のび



敷地は安来市の市街化調整区域に隣接する田園風景がひろがる地域にある。親の世帯の敷地に隣接しており、西側の水路と比較的交通量の多い東側の道路との間に挟まれた細長い敷地に建設されている。田園地帯のため近隣の住宅は広い敷地が多い中で、比較的小さな敷地である。したがって、田園地帯ののんびりとした雰囲気を保ちながら、親の世帯とは異なる子供世帯の合理的な住まいがもめられた。

全体的には切妻の2階建て杉板張りを基本としているが、交通量の多い東側は黒板塗装をした寡黙なファサード、南側は玄関入口で横格子、西側は水路に合わせたヒューマンスケールを意識したファサードとなっている。シンプルな外観のなかに、個々の変化をもたせた構成で、田園風景を考慮しながら個性を保つ景観をつくりだしている。

内部については、東側の道路からのプライバシーの確保と住まいの快適性を考慮して、生活の中心は2階としている。1階に求められた「近所のおっちゃんおばちゃんが寄れる多目的スペース」と「2階の中庭」として設えたバルコニーがこの住まいの中心となっている。1階と2階に各々リビングがある構成で、デュアルリビングを実現し、接客・茶の間・居間の機能を果たし、プライバシー部分の台所・バルコニー・寝室・洗面等の合理的動線がライフスタイルに適した生活空間を提供している。

(熊谷昌彦)



所在地：安来市西赤江町
 建築主：個人
 設計者：スタジオ・カナ一級建築士事務所
 施工者：八光建設株式会社

建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：2
 延べ面積：129.07㎡／工事種別：新築



中庭のあるローコスト住宅

生活動線を重視したバリアフリー住宅



所在地：出雲市大島町

建築主：個人

設計者：株式会社山根一史建築設計事務所

施工者：今井産業株式会社

建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：1

延べ面積：112.46㎡／工事種別：新築

出雲市の静かな住宅団地に建つ平屋の住まいです。外観は高さを抑えたシンプルな白い箱型のデザインで、コストについても配慮されています。また、駐車場から玄関へはスロープが配置され、内部の建具についても全て引き戸となっており段差のないバリアフリー住宅となっています。

内部に入ると建物の中央に中庭があり、それを囲うようにリビング、ダイニング、和室、寝室がレイアウトされており、プライバシーを保ちながらも良好な採光・通風を確保されていて、とても明るく快適な室内空間となっています。

生活の中心となるリビングについては天井を高くし、余った空間にロフトを配置した平面・断面計画ともに、すっきりと無駄のない計画となっています。

また、中庭を中心とした回遊性のある間取りは行き止まりがなく、家事や施主の生活動線として大変使いやすいように計画されています。

(川井香織)



求院の家

大きな窓に広がる田園風景を楽しむ家



「求院の家」の敷地は出雲平野に位置し、敷地の北西には、もともとあった防風林が整然と並び、その先には道路を挟み田園風景が広がっています。

20坪強のコンパクトな住まいの外観は箱型の焼杉の外壁で、北側道路に面しても南側の庭に面しても大きなガラス窓で開放的な印象です。

しかし、中に入ってみると比較的交通量の多い道路からリビングの高さを90センチ高くすることにより、上手くプライバシーを確保しながら、大きな窓にはパノラマのような美しい田園風景が広がっています。

床レベルを下げた寝室との境は家具によって仕切られ、十分な収納となっています。リビングと前面道路、リビングと寝室、どちらも床の高低差を上手く利用し適度な距離感が保たれています。

美しい田園風景を楽しみながらこのコンパクトだけど豊かな住まいと上手く付き合っているのが伝わってくる作品です。

(川井香織)



所在地：出雲市斐川町
 建築主：個人
 設計者：ハルナツアーキ
 施工者：有限会社石川工務店

建物概要

用途：住宅／構造：木造／階数：1
 延べ面積：68.74㎡／工事種別：新築

奨励賞

ギャラリー記田屋

空き家を活用したギャラリー



所在地：出雲市大社町
 建築主：ギャラリー記田屋
 設計者：一級建築士事務所
 原浩二建築設計事務所
 施工者：株式会社トガノ建設

建物概要

用途：ギャラリー
 構造：木造一部鉄筋コンクリート造
 階数：1／工事種別：改修

出雲市の静かな集落の路地を入ったところにある「ギャラリー記田屋」は代々受け継がれてきた家屋を週末ギャラリーへとリノベーションされた建物です。

建物は3棟に分かれており、メインギャラリーとなった納屋は天井を撤去し、壁・天井を白く塗装したシンプルな空間に地元作家の工芸品などがセンス良くディスプレイされています。

土間台所棟には米ヒバのシンクがはめ込まれた研ぎ出しの流し台や、店主が持っておられたタイルを利用して作られたテーブルなどこちらも店主のセンスとこだわりが詰まっています。母屋に入ると八畳間いっぱいに蚊帳が広がっており、幻想的な空間となっています。

建物や庭だけでなく、店主のお人柄にもとても癒される、そんなギャラリーです。

空き家の多い島根県において地域住民や観光客の憩いの場に生まれ変わり地域の活性化につながるこの改修工事は今後のモデル事例として高く評価できると思います。
 (川井香織)

奨励賞

ふるさと定住の古民家再生

伝統的木造軸組工法住宅の耐震改修



100年以上前に建設された伝統軸組工法による木造住宅を耐震改修・リフォームされた物件である。

建築主は建築の構造技術者で、木造の耐震についてオーソリティーである。

定年退職を機にUターンされ、建築主ご自身でこの築100年を超える生家の耐震診断と補強設計をし、耐震改修・リフォームされた。

小屋組みを現しにしたり、既存の箱階段を残すなど意匠的に昔ながらの住宅の姿を残すように工夫されている。また、耐震改修した部分については耐震壁として荒壁パネルや落とし込み板壁を用い、耐震リングを使いながら、開放的な空間を塞ぐことなく補強され、できるだけ日本家屋の特性を損なわないよう改修されている。

そういう意味では、純粹に構造の改修をしているので、リフォームをして現代の住宅に合わせるのではなく、構造的に補強を行った上で、当時のままの住宅で生活するという気概がそこに住まわれる方から伝わってくる、印象的な改修となっている。(矢野敏明)



所在地：安来市荒島町

建築主：個人

設計者：古民家耐震改修工房 K

施工者：株式会社植尾組

建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：2
延べ面積：221.45㎡／工事種別：改修



奥谷の家

幾何学的なファサードと個性的な内部空間



所在地：松江市奥谷町
 建築主：個人
 設計者：白根博紀建築設計事務所
 施工者：株式会社松工建設

建物概要

用途：専用住宅／構造：鉄筋コンクリート造
 階数：2／延べ面積：81.86㎡
 工事種別：新築

自ら設計事務所を構える設計者の自邸である。コンクリート打ち放しの幾何学的なファサードは、その形状、ボリュームがよく検討され、設計者ならではの考え方が反映されている。内部空間も個性的であり、シンプルな照明器具がより一層建物を引き立たせている。

西面の大きな開口が北田川に接して計画されており、水辺を生活に取り入れることで、プライバシーを確保しながら開放感を得ることができるという敷地ならではの心地よさが感じられる。また、コンクリートの良さや、蔦の絡んだ格子・樹木が周辺にうまく溶け込んでいる。

個人住宅がまちづくりにおいて魅力ある景観づくりに参加するためには、敷地の特性を活かしながら周辺や外部環境といかに良い関係性を築くかということに取り組みされた設計者の思いが感じられる住宅だと思う。

(矢野敏明)



大田の家

周囲の自然を取り込む家



「大田の家」は大田市の市街地から少し離れた緑豊かで静かな敷地に建つ住まいです。

山を背にした27坪のコンパクトで小さな家は、施主がどうしても叶えなかったという周辺の緑に映える板張りの黒い外壁と薄く伸びたシャープな深い軒先が美しい外観となっています。

また、軒の高さを抑えた緩勾配のガルバリウム鋼板の屋根も昼寝をしたり、本を読んだりすることができる生活空間の一部となっています。

室内に入るとリビングから遠くの間山々が眺められ、木製ガラス戸を全開にすると外部と一体的に繋がり、周囲の自然を住まいに上手く取り込んだ広がりのある心地よい空間となっています。

時間の経過と共にあらわれる板張り外壁の風化さえも前向きにとらえ、楽しもうとしている家族の様子が伝わってくる、そんな優しい住まいです。

(川井香織)



所在地：大田市長久町
 建築主：個人
 設計者：宇佐美建築設計室
 施工者：有限会社石川工務店

建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：2
 延べ面積：96.72㎡／工事種別：新築

奨励賞

古民家DIY

施主の手がけた古民家の再生



所在地：松江市八雲町

建築主：個人

設計者：一級建築士事務所 江角アトリ工

施工者：株式会社内藤組

建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：1

延べ面積：148.17㎡／工事種別：改修

松江市八雲町の自然豊かな集落にあるこの住宅は、古民家での生活に憧れた若い夫婦が何年にもわたり探し歩き巡り会えた明治生まれの古民家です。

施主ご夫婦で出来る事は全てセルフビルドにより改修されています。

この古民家は当初、土間には床が貼られ新材材でのリフォームがされていましたが、施主自ら床や壁、天井を全て取り去り、通り抜ける出来る土間空間となっていた昔の姿へと復元されました。

大きな梁や大黒柱と今回補強した箇所を眺めていると、この建物の穏やかな時間の流れを感じます。外観については、この集落に合った赤瓦を残し外壁の漆喰塗り、下見板張りも施主が行い、自然豊かな風景の一部として溶け込んでいます。今回の工事は生活する上での最小限の工事という事でしたが、これから施主ご夫婦が住みながら少しずつ手を入れ大切に住み継いでいくのでしょうか。島根での魅力あるスローライフのモデルを示しているように思えます。 (川井香織)



外中原町の2世帯住宅

素材の美しさや温かさを感じる家



松江に住む人ならだれもが、外中原町の月照寺近辺を閑静な住宅地と思い描くだろう。

この住宅は、まさにそのイメージの上に計画され、それがよく表現されている。

要求される面積により前面空地（駐車場）と裏面の庭をとり、総2階に近い二世帯住宅ではあるが、平入りの屋根に変化を持たせ、またそれが二世帯の住まう平面と調和している。

外部は銀黒瓦屋根、白壁、板塀で仕上げられており、城下町の町屋を意識し、家並みの連続性に配慮したデザインとされている。

また、内部は地元の木材を多用し、その素材の美しさや温かさを感じながら、心地よく住んでおられる様が伝わってくる。

視線による開放感に加え、夏場の通風にも配慮されるなど、住空間としての工夫が光る住宅である。
(矢野敏明)



所在地：松江市外中原町
 建築主：個人
 設計者：有限会社三沢建設
 一級建築士事務所
 施工者：有限会社三沢建設

建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：3
 延べ面積：279.01㎡／工事種別：新築

奨励賞

まちなか再生拠点 オープンスペース ichi

商店街に賑わいを呼び込む拠点活動



主な活動場所：出雲市今市町
活動実施主体：出雲商工会議所

出雲商工会議所が出雲市駅北側の中心商店街に整備した「まちなか再生拠点『オープンスペースichi』」がオープンしました。

大型店やコンビニエンスストアなどの相次ぐ出店の影響を受け、中町、本町、駅通り、中央通り、扇町、新町で構成される中心商店街の店舗数は4割も減っているそうです。

この中心商店街のサンロード中町にある空き店舗（床面積46平方メートル）をリノベートし、今市の「市」に由来して、かつてのにぎわいを取り戻すという期待を込めて名付けた『ichi』を希望者に無料で貸出しています。

サンロード中町の若手後継者の組織である「中町わくわく会」の若々しい意見を極力取り入れて整備した貸出スペースは、4面ある壁の一面に大きな黒板を備えた個性的なもので、床は温かみのある木で仕上げ、入口はスロープを設置して、高齢者の方にも配慮したものとなっています。

オープニングセレモニーでは、この黒板を利用した演出が好評で、来賓や町の人々がこのスペースを活用して商店街に賑わいを呼び込むことの決意や希望が書き込まれたそうで、現在は、高齢者の交流の場、趣味の講座、様々な団体のミーティングなどに使われています。

たくさんの方々との繋がりを生かすことにより展示会やセミナーなど、さらに用途を広げて活用していくことで地域に貢献され、同様な問題を抱える他の地域にも波及することが期待されます。（佐々木巧）



旧堀氏庭園活用協議会

集落全体で、名勝を高める活動



畑迫公民館は、地区住民や有志が旧堀氏庭園の建物、庭、歴史等への理解を深め、観光客などに解説できる知識、技術を養うための観光ガイド勉強会を主催しています。

堀庭園は、江戸時代に徳川幕府の直轄領に指定された、大森代官所の下で銅山を経営した堀家の旧宅です。「山陰の小京都」の名にふさわしい紅葉が楽しめ、往時の繁栄を偲ぶことができる名園として2005年7月に国指定名勝となっています。

地元団体や有志のグループが中心となり、旧宅のかまどや囲炉裏を活用した定期的な食イベントの開催を図ったり、子供や家族などを対象として、昔の暮らしが体験できるようにするなど具体化に向けた検討がされているところです。

複数ある土蔵等を利用して、堀家に関わる史料などの展示ができる歴史資料室を段階的に整備していくことや、集落全体で環境美化に努め、名勝の景観をより高める活動をされています。

これらの活動と関連してか、町観光協会が企画して堀庭園の敷地内に、カフェがオープンしたというニュースも目にしました。観光客らが紅葉に彩られた奥津和野の風景を眺めながら、コーヒーと旬な地元食材を生かしたデザートがいただけて、至福のひとつときを楽しめるそうです。

これらの地域の特性を生かす活動が、様々な団体に広がり、様々な効果へと発展していくことが期待されます。
(佐々木巧)



主な活動場所：鹿足郡津和野町内
活動実施主体：畑迫公民館

テーマ・応募物件

『魅力あるしまねの暮らしを目指して
— 快適で豊か、安心で安全な生活の実現のために —』

- 募集テーマに即した建築行為、住生活に関連する活動であること
- 島根県内において、平成26年9月30日までに実施されたものであること
- 自薦・他薦を問わず、個人・団体・企業・自治体、どなたでも応募可能

なお、部門は以下のとおりです。

建築物部門

概ね5年以内に建築（新築、増築、改築または移転）し、修繕し、または模様替えした建築物（建築物の一部またはその敷地を含む）であって、募集テーマに即して、以下のいずれかに該当するもの

- 建築主、利用者などへの配慮がなされているもの
- 創意、工夫が見られるもの
- 地域特性を活かしたもの
- 既存建築物を活用したもの
- 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの
- その他先進的事例

例えば

- 地域のコミュニティ形成や活性化を目的とした廃校舎等の改修
- 耐震、バリアフリー改修工事を実施し、耐用年数を延ばした事例
- 工法、工事期間等を検討し、工事費用を抑えた事例
- 設備のメンテナンス等を軽減した事例
- 地域に増加する空き家を再生した事例
- 県産木材や石州瓦などを効果的に使用した事例
- 長期優良住宅や防犯性能の向上に積極的に取り組んだ事例
- ランニングコストを抑える工夫をした事例
- 建築主への健康に配慮し、材料や建材を取り替えた事例

など

活動部門

募集テーマに即した住生活に関連する取り組み、活動であって、以下のいずれかに該当するもの

- 創意、工夫が見られるもの
- 地域特性を活かしたもの
- 他者への意識啓発に寄与しているもの
- 積極的、継続的に取り組まれているもの
- 今後のモデルとして、波及効果が期待できる事例
- その他先進的事例

例えば

- 継続して行われている定住に向けた空き家の調査や活用の支援活動
- 高齢者世帯への地域での居住支援活動
- 使われなくなった学校、店舗等を活用して行われているまちの活性化活動

など

審査経過 ・ 審査委員

審査経過

募集結果

募集期間 平成26年7月10日～9月30日
応募総数 118件
【建築物部門】111件（新築81件、リフォーム30件）
【活動部門】7件

審査経過

第1次審査 応募書類、写真をもとに第2次審査の対象となる28件を選出
審査期間 平成26年10月9日～10月20日
選出件数 35件
【建築物部門】28件（新築19件、リフォーム9件）
【活動部門】7件

第2次審査 選出された35件について第2次審査を実施し、表彰候補13件を選定
現地審査 平成26年11月11日～12月12日
最終審査会 平成26年12月19日
選定件数 13件
【建築物部門】11件（新築8件、リフォーム3件）
【活動部門】2件

表彰式

開催日 平成27年3月2日
授与式 受賞物件の建築主又は活動実施主体、設計者及び施工者に対して賞状を、建築主及び活動実施主体には、副賞として表彰銘板（石州敷瓦）を贈呈

審査委員

審査委員長 熊谷 昌彦 〔国立米子工業高等専門学校建築学科教授〕
審査委員 川井 香織 〔(株)島根県建築士会 女性委員会委員長〕
佐々木 巧 〔浜田市都市建設部建築住宅課長〕
谷口 智美 〔島根職業能力開発短期大学校講師〕
矢野 敏明 〔(株)島根県建築士事務所協会会長〕

第2次審査対象物件一覧

部門	名称	所在地
建築物部門	優秀賞 かずと会館	安来市広瀬町
	一の谷の家	松江市一の谷町
	田の字の家	松江市東奥谷町
	奨励賞 ふるさと定住の古民家再生	安来市荒島町
	石橋町の長屋	松江市石橋町
	奨励賞 奥谷の家	松江市奥谷町
	学生市民交流ハウスFLAT	松江市西川津町
	奨励賞 古民家DIY	松江市八雲町
	家カフェの家	安来市新十神町
	優秀賞 のび・のび・のび	安来市西赤江町
	ぐる・ぐる・くぐる	松江市比津が丘
	北堀の家	松江市北堀町
	エイジングを楽しむ家	松江市宍道町
	奨励賞 外中原町の2世帯住宅	松江市外中原町
	頓原緑地公園ツリーハウス	飯石郡飯南町
	ひのぼりの家	雲南市木次町
	奨励賞 中庭のあるローコスト住宅	出雲市大島町
	奨励賞 求院の家	出雲市斐川町
	住み継ぐ家	出雲市荒茅町
	奨励賞 ギャラリー記田屋	出雲市大社町
	耐震改修のすすめ	出雲市塩治有原町
	シスルビー I	出雲市姫原
	奨励賞 大田の家	大田市長久町
	浜田市立三隅図書館	浜田市三隅町
	大切に使いたい このお家	江津市渡津町
	山あいの風景を楽しむ家	浜田市内村町
	優秀賞 土間と大黒柱の有る家	益田市幸町
万福寺参道沿いの家	益田市東町	
活動部門	興雲閣保存修理工事現場見学会	松江市殿町
	天然材料・伝統工法に拘った蔵の再生活動及びそれを通じた学生の人材育成	江津市都野津町
	奨励賞 まちなか再生拠点 オープンスペース ichi	出雲市今市町
	奨励賞 旧堀氏庭園活用協議会	鹿足郡津和野町
	町内集会所“一心会館”を活用したコミュニティ活動	松江市堂形町
	鷺浦地区空き家を活用した拠点づくり「ギャラリーしわく屋」	出雲市大社町
	川本屋・醤油蔵改修への参加による、地域活動としての校外実習の取り組み	江津市都野津町

しまね建築住宅コンクール受賞一覧

◆平成19年度

賞	物件名	所在地
最優秀賞	松江市雑賀八区町内会救助隊	松江市雑賀町
優秀賞	しまねの木の家	松江市国屋町
優秀賞	安国寺本堂改修工事	松江市竹矢町
優秀賞	奥谷町東区防災隊の活動	松江市奥谷町
奨励賞	古民家改修「囲いの家」	
奨励賞	附帯屋根瓦工事耐震化及び耐震改修	
奨励賞	ポートピア松江ビル	松江市寺町
奨励賞	岩田邸	安来市黒井田町
奨励賞	松江しんじ湖温泉駅	松江市中原町
奨励賞	災害避難所におけるプライベートスペース「6家族のためのささやか安心空間」の試作および組立てマニュアルDVD制作事業	

◆平成20年度

設計・工事・技術提案部門

賞	物件名	所在地
奨励賞	JR 安来駅 観光交流プラザ	安来市
奨励賞	海士中学校エコ改修	隠岐郡海士町

防災活動部門

賞	物件名	所在地
奨励賞	「耐震改修モデル設計による地域学習会」への参加を通じた耐震診断技術の習得及び耐震意識の啓発	
奨励賞	わが家の耐震改修工事	

◆平成21年度

技術部門

賞	物件名	所在地
優秀賞	菱浦魚集緑地広場整備菱浦蔵改修工事	隠岐郡海士町
奨励賞	美保関橋津屋改修工事（古民家）	松江市美保関町
奨励賞	K邸	松江市内
奨励賞	本妙寺改修工事	出雲市平田町

活動部門

賞	物件名	応募者
特別賞	地震防災ポスター	島根大学教育学部 附属小学校 3年 1組

◆平成22年度

技術部門（リフォーム工事）

賞	物件名	所在地
優秀賞	時をつなぐ家	出雲市
奨励賞	石見瓦再生の家	鹿足郡
奨励賞	古民家劇的大改造	松江市
奨励賞	A邸増改築工事	松江市

技術部門（新築工事）

賞	物件名	所在地
奨励賞	木の香の家（K邸）	浜田市

活動部門（地域防災活動）

賞	物件名	所在地
優秀賞	防災活動（地震防災訓練）	松江市
奨励賞	緊急地震速報を活用した県内初の避難訓練	松江市
奨励賞	岡の目地区防災訓練	松江市

◆平成23年度

建築物部門

賞	物件名	所在地
最優秀賞	ワークくわの木江津事業所	江津市江津町
優秀賞	渡橋の家	出雲市渡橋町
優秀賞	母里の家	安来市伯太町
優秀賞	カイダングン ノ イエ	松江市東出雲町
奨励賞	『家族の健康を守る家』K邸	松江市内中原町
奨励賞	パティオのある家	出雲市知井宮町
奨励賞	五箇小学校木造校舎耐震改修	隠岐郡隠岐の島町
奨励賞	石州瓦の家	大田市大田町
奨励賞	「築後139年を住み継ぐ、古民家再生」	益田市中島町

活動部門

賞	物件名	主な活動場所
奨励賞	人間交流センターを舞台に広がる都市交流活動	雲南市掛合町
奨励賞	地元の木材を生かした読書空間づくり活動	隠岐郡海士町
奨励賞	平成23年度法吉地区防災訓練	松江市比津町
奨励賞	街の魅力を再発見するまちあるき企画の運営	松江市市内

◆平成24年度

建築物部門

賞	物件名	所在地
最優秀賞	コクバンの家	松江市八幡町
優秀賞	空に向う家	松江市奥谷町
優秀賞	〇邸	雲南市木次町
優秀賞	新しい出発「坂の下café morikame」	出雲市大社町
奨励賞	先人の技術を受け継ぐ家	安来市伯太町
奨励賞	漆喰の家	出雲市知井宮町
奨励賞	『一畑電車大社前駅』の新しいかたち	出雲市大社町
奨励賞	そらうみの家	浜田市長浜町
奨励賞	潮騒の住処	益田市津田町

活動部門

賞	物件名	主な活動場所
奨励賞	避難所運営体験の実践	出雲市

◆平成25年度

建築物部門

賞	物件名	所在地
最優秀賞	家族が繋がる3世帯住宅	益田市東町
優秀賞	古志原の家	松江市古志原
優秀賞	浜田市立中央図書館	浜田市黒川町
優秀賞	Traditional Style	出雲市東林木町
優秀賞	北堀のいえ 民家再生	松江市北堀町
優秀賞	見晴らしの家	松江市西忌部町
優秀賞	段々畑の家	出雲市東林木町
優秀賞	食事処 小望月	出雲市大社町

活動部門

賞	物件名	主な活動場所
奨励賞	《訪れる場所作り》 佐世だんだん工房	雲南市大東町
奨励賞	大久地区災害対策活動	隠岐郡隠岐の島町
奨励賞	奥出雲町わがごとこ再発見ワークショップ	仁多郡奥出雲町内

平成26年度

しまね建築・住宅コンクール

[主催] 島根県

[後援]

島根県建築行政推進協力会・(社)島根県建築士会・(社)島根県建設業協会・(社)島根県建築組合連合会
(公)島根県宅地建物取引業協会・(社)島根県建築士事務所協会・(財)島根県建築住宅センター・(社)島根県建築技術協会
(社)島根県住まいづくり協会・(社)島根県管工事業協会・(社)島根県電業協会

平成27年3月発行

島根県土木部建築住宅課